2022年度秋学期 学生による授業評価報告書

川崎医療福祉大学
ＦＤ・ＳＤ委員会

本学の「学部学生による授業評価」は、2005 年度に開始され、2009 年度からは春学期に講義科目、秋学期に実習・演習科目の授業評価を行い、翌年は学期と科目の組み合わせを逆にし、以降はそれを繰り返し実施してきた。しかしながら、同一学期での同一科目の比較が 2 年毎となることから、より綿密な分析を図るために、2020 年度からは科目の形態にかかわらず学期ごとに履修者 5 名以上の全科目を対象として実施している。

1. 実施状況

1-1　実施対象と実施方法

秋学期の履修者数はのべ 37,876 名、対象科目数は 792 科目（基礎教育科目 122 科目、専門科目 664 科目、教職共通科目 6 科目）であった。アンケートは WebClass を使用して、オンラインにて実施した。質問項目は巻末の資料１の通りである。

1-2　実施期間

2023 年 1 月 12 日（木）～2023 年 2 月 28 日（火）

2. 実施結果

2-1　回収率

回答数は 24,167 名で、回収率は 63.81%（今年度春学期 70.51%、昨年度秋学期 61.21%）と春学期と比較して若干減少しているが、昨年度秋学期との比較においては増加している。

2-2　評価結果（Q1）～（Q2)、(Q4）～（Q8)

表 1 には Q1 から Q2、Q4 から Q8 の質問項目の評価結果を示した。授業の満足度については、4.39 と昨年度 4.44 より 0.05 低い結果となった。

表 1　Q1～Q2、Q4～Q8 の評価結果（5 点満点：平均値 AV と標準偏差 SD）

Q1 授業の満足度		Q2 授業への意欲		Q4 授業の理解度		Q5 授業内容のまとまり		Q6 教員の臨機応変さ		Q7 シラバスに沿った授業		Q8 授業到達目標の達成	
AV	SD	AV	SD	AV	SD	AV	SD	AV	SD	AV	SD	AV	SD
4.39	0.83	4.41	0.79	4.20	0.88	4.34	0.87	4.31	0.91	4.44	0.77	4.31	0.83

2-3　評価結果（Q3, Q9）

1 週間の自己学習時間（Q3）と教員の指導や対応等の改善点（Q9）についての評価結果を表 2 に示した。1 週間の自己学習時間では、「30 分以下」が一番多く、次いで「1 時間程度」となっており、両項目を合わせた人数は 80%を超えていた。教員の指導や対応等の改善点では、

例年と同様に「話し方や資料提示の方法」が 6.15%と一番大きな結果となった。

表 2 Q3 と Q9 の結果（回収数 24,167 名に対する割合：単位%）

Q3 1週間の自己学習時間	4時間程度以上	3時間程度	2時間程度	1時間程度	30分以下
	4.36	3.50	10.33	31.94	49.88
Q9 教員の指導や対応等の改善点	質疑応答	話し方や資料提示の方法	課題等のフィードバック	学生の私語・遅刻等の対処	教員の遅刻や休講
	2.46	6.15	2.26	1.10	0.92

2-4　評価結果（授業の満足度）の分布

図 1 に授業の満足度（Q1）における全科目の度数分布を示した。4.9 以上の科目は 131 科目、3.0 以下の科目は 6 科目あった。この中には回収数ならび回収率の極端に低い科目を含んでいることから、回収率 30%、回答数 10 を超える科目を抽出したところ 529 科目あり（図 2）、その中で 4.9 以上の科目は 18 科目、3.0 以下の科目は 4 科目あった。

図 1 授業の満足度（Q1）における全科目の度数

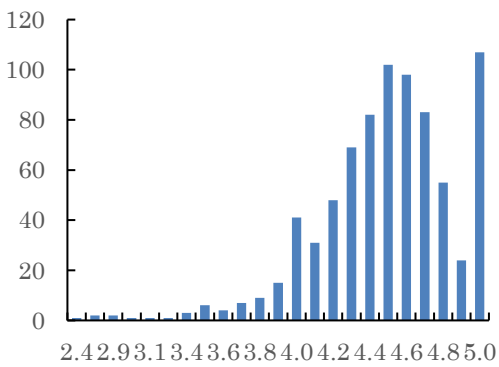
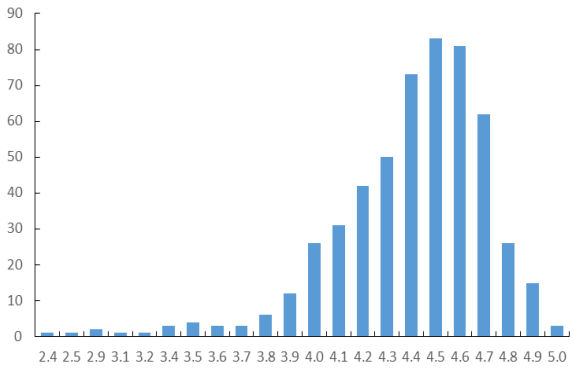


図 2 授業の満足度（Q1）における全科目の度数分布（回収率 30%以上、回答数 10 以上）



3. 関連要因別のまとめ

3-1　授業形態別

本学期に実施された授業についての授業形態の内訳は、講義 406 科目、実技 21 科目、実習 91 科目、実験 5 科目、演習 269 科目であった。表 3 に（Q1）から（Q2）、（Q4）から（Q8）の授業形態別の評価結果の平均値を示した。講義科目より実習科目のほうが高い傾向にあった。特に、講義科目の理解度は 4.11 となり、授業形態別の結果の中で最も低値を示した。

表 3　授業形式別の評価結果（Q1～Q2、Q4～Q8）

	全科目	講義	実技	実習	実験	演習
Q1. 授業の満足度	4.39	4.33	4.61	4.48	4.34	4.49
Q2. 授業への意欲	4.41	4.34	4.63	4.54	4.48	4.53
Q4. 授業の理解度	4.20	4.11	4.60	4.18	4.15	4.33
Q5. 授業内容のまとまり	4.34	4.28	4.63	4.45	4.27	4.44
Q6. 教員の臨機応変さ	4.31	4.24	4.63	4.41	4.30	4.43
Q7. シラバスに沿った授業	4.44	4.40	4.63	4.44	4.38	4.50
Q8. 授業到達目標の達成	4.31	4.25	4.60	4.28	4.29	4.39

3-2　科目分類別

図 3 に、授業の満足度(Q1)における科目分類別の平均値グラフを示した。基礎教育科目 4.36、専門科目 4.40、教職共通科目 4.49 とほぼ同程度の評価であった。学科別にみると、保健看護学科 4.52、作業療法学科 4.54、言語聴覚療法学科 4.50、視能療法学科 4.58、健康体育学科 4.52、医療秘書学科 4.53、医療福祉デザイン学科 4.66、また基礎教育科目では健康・体育分野 4.59、総合分野 4.51 が 4.5 以上の評価であった。3.0 を下回る学科は認められなかった。

図 3 科目分類別の授業満足

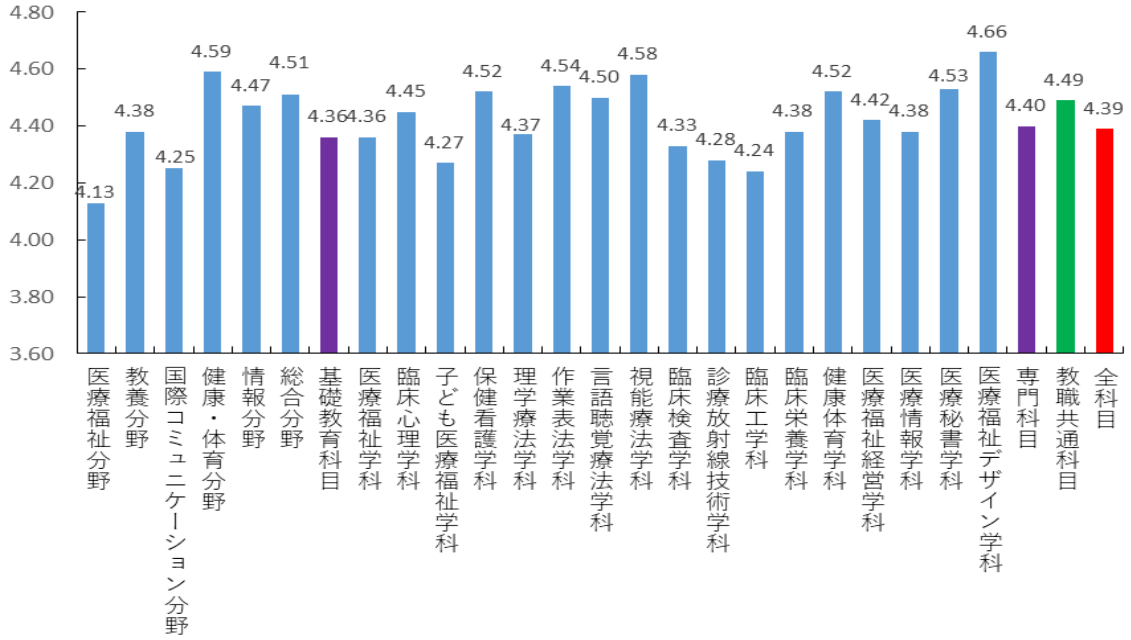
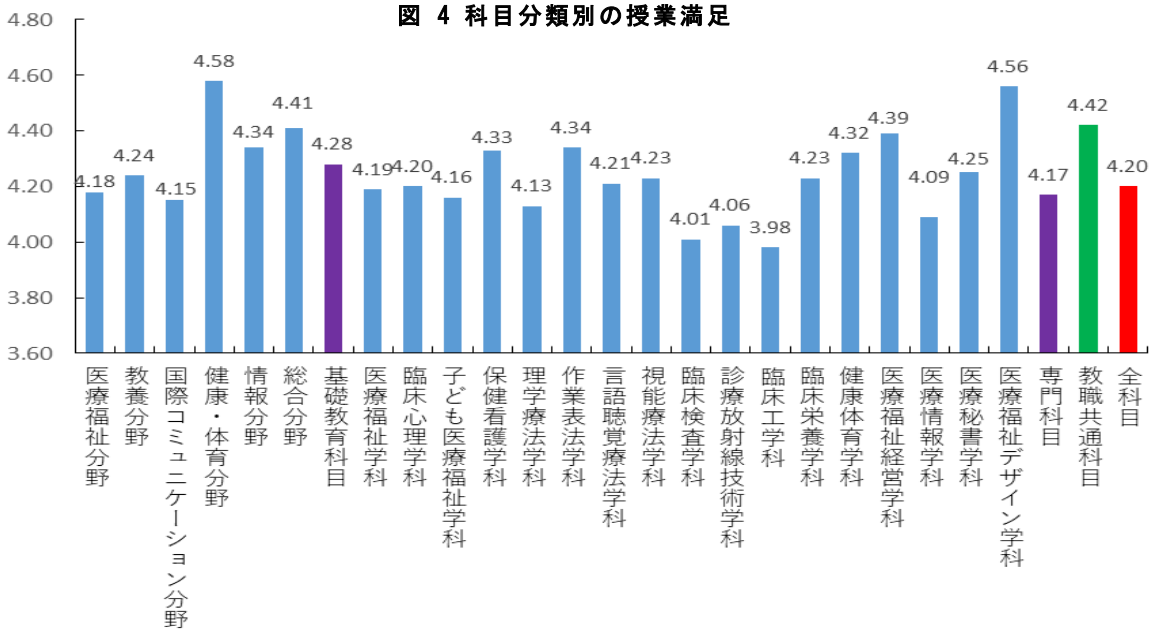


図 4 に、授業の理解度(Q4)における科目分類別の平均値グラフを示した。全科目平均 4.20、基礎教育科目 4.28、専門科目 4.17、教職共通科目 4.42 で、医療福祉デザイン学科 4.56、また基礎教育科目の健康・体育分野 4.58 が 4.5 以上の評価であった。3.0 を下回る学科は認められなかった。

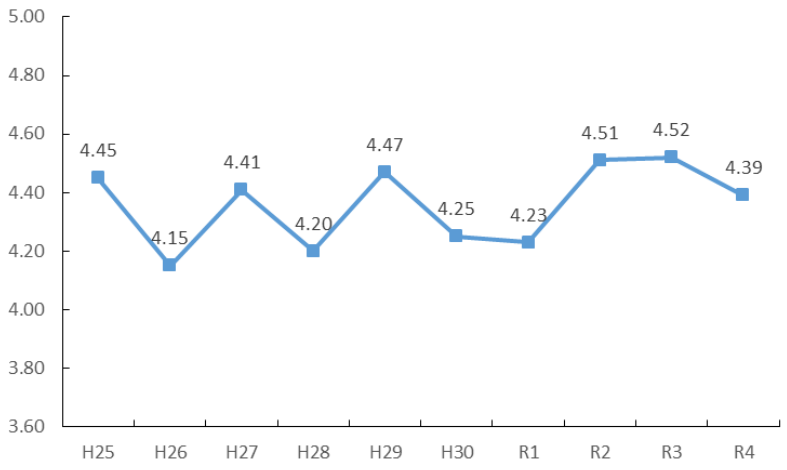
図 4 科目分類別の授業満足



4. まとめ

授業の満足度の平均値は 4.39 を示し、過去 10 年間の平均的な値を示した（図 5)。また、授業の理解度については 4.20 と、ほとんどの基礎教育科目や専門科目で 4.0（授業の内容を十分に理解できたとやや思う）を上回った。また、教員に対する改善項目については、「質疑応答」「課題等のフィードバック」「学生の私語・遅刻等の対処」「教員の遅刻や休講」が約 1%～2%程度の回答であるのに対し、これまでの結果と同様に、「話し方や資料提示の方法」に改善を求める回答は全回答数の 6%を超えており、授業時の教員の話し方や資料提示の方法については、改善が急務と考える。

図 5 授業の満足度の 10 年間の経年変化



2022年度　秋学期　学部授業評価アンケートにおける質問項目

資料1

	質問	回答				
1	この授業は全体として満足できるものでしたか。	そう思う	やや思う	どちらでもない	やや思わない	そう思わない
2	この授業を意欲的に受けましたか。	そう思う	やや思う	どちらでもない	やや思わない	そう思わない
3	この授業の予習・復習などの自己学習時間は、平均すると1週間にどの程度ですか。	4時間程度以上	3時間程度	2時間程度	1時間程度	30分以下
4	授業の内容を十分に理解できましたか。	そう思う	やや思う	どちらでもない	やや思わない	そう思わない
5	授業の内容は整理され、よくまとまっていましたか。	そう思う	やや思う	どちらでもない	やや思わない	そう思わない
6	教員は、受講生の理解が進むよう、受講生の様子をよく見ながら臨機応変に授業を進めていましたか。	そう思う	やや思う	どちらでもない	やや思わない	そう思わない
7	この授業は、シラバスに記載されている授業のねらいや到達目標を踏まえ、授業計画・評価方法等の記載内容に沿って行われましたか。	そう思う	やや思う	どちらでもない	やや思わない	そう思わない
8	本科目のシラバスに記載されている到達目標を達成できましたか。	そう思う	やや思う	どちらでもない	やや思わない	そう思わない
9	教員の指導・対応などに改善の必要があったと思う人のみ答えてください。それは、次のどれですか。（複数回答可）	質疑応答	話し方や資料提示の方法	課題等のフィードバック	学生の私語・遅刻等の対処	教員の遅刻や休講